

温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

※この分析書は、温泉として認定された源泉より湧出する温泉水に処理を施したものを分析した結果である。

1. 分析申請者 住所 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
氏名 三菱地所株式会社

2. 処理の方法 除鉄・除マンガン、消毒処理

3. 源泉名及び採水地 源泉名 大手町温泉
採水地 東京都千代田区大手町一丁目9番2号
採水場所 受湯槽

4. 採水場所における調査及び試験成績

- (イ) 調査及び試験者 公益財団法人 中央温泉研究所 滝沢英夫
- (ロ) 調査及び試験年月日 令和7年9月12日
- (ハ) 水温 32.9℃(調査時における気温 26℃)
- (ニ) 処理量 55 t/day(掘削・動力揚湯)
- (ホ) 知覚的試験 淡褐色澄明微塩素臭
- (ヘ) pH値 7.7
- (ト) 電気伝導率 3.90 S/m(25℃)
- (チ) ラドン(Rn) -- Bq/kg(-- ×10⁻¹⁰ Ci/kg, -- マツヘ単位)

5. 試験室における試験成績

- (イ) 試験者 公益財団法人 中央温泉研究所 滝沢英夫
- (ロ) 分析終了年月日 令和7年9月30日
- (ハ) 知覚的試験 淡褐色澄明微よう素臭(試料採取8時間後)
- (ニ) 密度 1.016 g/cm³(20℃/4℃)
- (ホ) pH値 7.81
- (ヘ) 蒸発残留物 25.74 g/kg (180℃)

6. 試料1kg中の成分・分量及び組成

(イ) 陽イオン		シグラム	シバル	シバル%
ナトリウムイオン(Na ⁺)		8990	391.0	89.71
カリウムイオン(K ⁺)		282.0	7.21	1.65
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)		146.1	8.10	1.86
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)		203.0	16.70	3.83
カルシウムイオン(Ca ²⁺)		256.8	12.81	2.94
アルミニウムイオン(Al ³⁺)		0.4	0.04	0.01
マンガン(II)イオン(Mn ²⁺)		0.1	0.00	0.00
鉄(II)イオン(Fe ²⁺)		<0.1	--	--
陽イオン計		9878	435.9	100

(ロ) 陰イオン		シグラム	シバル	シバル%
ふっ化物イオン(F ⁻)		<0.1	--	--
塩化物イオン(Cl ⁻)		15000	423.1	97.00
臭化物イオン(Br ⁻)		66.5	0.83	0.19
硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)		38.1	0.30	0.07
硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)		<0.1	--	--
硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)		<0.1	--	--
硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)		2.0	0.04	0.01
硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)		723.1	11.85	2.72
炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)		1.5	0.05	0.01
陰イオン計		15830	436.2	100

(ハ) 遊離成分		シグラム	シバル	シメル
メタケイ酸(H ₂ SiO ₃)		94.5	4.4	0.10
メタホウ酸(HBO ₂)		14.1	<0.1	--
非解離成分計		108.6	4.4	0.10

(ニ) 成分総計		シグラム	シバル	シメル
遊離二酸化炭素(CO ₂)		4.4	4.4	0.10
遊離硫化水素(H ₂ S)		<0.1	<0.1	--
溶解ガス成分計		4.4	4.4	0.10

溶解物質計(ガス性のものを除く) 25.82 g

成分総計 25.82 g

- (ニ) その他微量成分 (mg)
- 総水銀 (Hg) 0.0005 未満
- 銅 (Cu) 0.05 未満
- 鉛 (Pb) 0.05 未満

- 総ひ素 (As) 0.005 未満
- 亜鉛 (Zn) 0.01 未満
- カドミウム (Cd) 0.01 未満

7. 泉質(採水場所における泉質) 含よう素—ナトリウム—塩化物強塩温泉(高張性・弱アルカリ性・低温泉)に相当する。

8. 禁忌症、適応症等 温泉分析書別表中6に記載する。
令和7年10月2日

登録番号 14 健康地衛第1号
東京都北区滝野川中央温泉研究所
東京財団法人 加藤 尚理





※温泉分析書別表

※この分析書は、温泉として認定された源泉より湧出する温泉水に処理を施したものを分析した結果である。

1. 源泉名 大手町温泉
2. 処理の方法 除鉄・除マンガン、消毒処理
3. 採水水場所 東京都千代田区大手町一丁目9番2号 受湯槽
4. 温泉分析申請者 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 三菱地所株式会社

5. 泉質 (採水場所における泉質) 含よう素—ナトリウム—塩化物強塩温泉 (高張性・弱アルカリ性・低温泉) に相当する。

6. 分析結果による療養泉分類に基づき禁忌症、適応症等は環境省自然環境局長通知 (平成26年7月1日) 環自総発第1407012号によれば次のとおりである。

【浴用の禁忌症】

一般的禁忌症 病気の活動期 (特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期。

泉質別禁忌症 該当項目なし。

【浴用の適応症】

一般的適応症 筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり (関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、胃腸機能の低下 (胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常 (糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状 (睡眠障害など)、病後回復期、疲労回復、健康増進。

泉質別適応症 きりぎず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症。

入浴上の注意

浴用の方法及び注意

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

ア. 入浴前の注意

- (ア) 入浴前の注意 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。
- (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。
- (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。
- (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
- (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

イ. 入浴方法

- (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。
- (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。
- (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。
- (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。

ウ. 入浴中の注意

- (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
- (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようゆっくり出ること。
- (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になつて回復を待つこと。

エ. 入浴後の注意

- (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること (ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質 (例えば酸性泉や硫酸泉等) や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと)。
- (イ) 脱水症状等避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

オ. 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

カ. その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注) この別表は温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

令和7年10月2日

登録番号 14 健地衛 第1号
 東京都北区滝野川三丁目56番地
 公益財団法人 中央温泉研究所
 理事長 加藤 尚

